飛鳥・藤原の宮都

6/5

イコモスが「登録」を勧告

―7月の世界遺産委員会で正式決定―

▲勧告後の記者会見時の様子
（左から）森川明日香村長、山下奈良県知事、亀田橿原市長、松井桜井市長

世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」について、世界遺産委員会の諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）より、「登録」にふさわしいとの評価結果が勧告されました。今後は、7月19日（日）～29日（水）に韓国・釜山で開かれる世界遺産委員会で審議が行われ、最終的な登録の可否が決定されます。

「飛鳥・藤原の宮都」は6世紀末～8世紀初めにかけて、日本で初めて中央集権体制が誕生・成立した過程を2つの連続する宮都の変遷から示すことができる遺跡群として、明日香村・橿原市・桜井市に及ぶ19件の資産で構成されています。

「飛鳥・藤原の宮都」は政治や交流の舞台となった飛鳥宮跡や藤原宮跡などの「宮殿・官衙（かんが）跡」をはじめ、飛鳥寺跡や大官大寺跡などの国家寺院の成立過程を示す「仏教寺院跡」、さらに石舞台古墳や八角墳の牽牛子塚古墳など天皇を頂点とした社会秩序を具現化した「墳墓」の三つの要素からなっています。

イコモス勧告では「東アジアにおける古代都市の形成過程の重要な証拠」として飛鳥・藤原の宮都の顕著な普遍的価値と資産の保存・管理について適切と評価されました。

飛鳥・藤原の宮都は2007年にユネスコの暫定リストに記載されましたが、遺跡の保護を図る史跡指定の追加や推薦書の準備作業に年月を要しました。2025年1月には国内推薦が決定し、ユネスコに正式版推薦書を提出しました。同9月にはイコモスによる現地調査が行われ、約1年半にわたり、イコモスの審査を受けてきました。

今月、釜山での世界遺産委員会で世界文化遺産登録が正式決定すれば、県内では「法隆寺地域の仏教建造物（1993年）」「古都奈良の文化財（1998年）」、「紀伊山地の霊場と参詣道（2004年）」に続いて4件目となります。

国内では2年ぶり、27件目（文化遺産22件、自然遺産5件）となります。

「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産委員会において、イコモス勧告のとおり世界遺産に登録されるよう、最後まで気を引き締めて取り組んでまいります。

4/29 春の叙勲・褒章

国家や社会、公共に対して功労のあった方々を称える春の叙勲・褒章に、多大なご功績により、次の方々が受章の栄誉に浴されました。村の誇りである皆さまの功績を称え、心からお祝い申し上げます。

▶叙勲受章

・**福田 勇次 氏**
旭日双光章（地方自治功労）
元 明日香村議会議員

▶褒章受章

・**山尾 佳輝 氏**
黄綬褒章（畜産業）
現 畜産業

5/18 自由民主党「飛鳥古京を守る議員連盟」総会

衆議院議員第二議員会館（東京都）で、自由民主党「飛鳥古京を守る議員連盟」（萩生田光一会長）総会が、田野瀬太道事務局長の司会のもと開催されました。

森川村長、石田議長が出席し、次の要望書を議員連盟の皆さまに手渡しました。

▶要望項目

・高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）と国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区の一体的な施設の早期整備
・世界遺産登録を見据えた展示の充実に対する支援
・安全で快適な来訪交通環境の確保とオーバーツーリズム対策
・京奈和自動車道を中心とした広域的な周遊観光の推進
・明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金による継続支援

萩生田会長からは、「明日香法の成立や『飛鳥・藤原の宮都』の世界遺産推薦を通じて、飛鳥地方の歴史的風土を守り、受け継ぐための取組を進めてきた。世界遺産登録に向けていよいよ大詰め。議連としても自治体の取組を後押しし、関係省庁含め一丸となることが重要である。」と挨拶がありました。24名の国会議員（代理も含む）からは、世界遺産登録推進の取組や明日香村の取組に関するご意見をいただきました。

▲要望書の手交の様子

また、日本維新の会からは藤田文武共同代表や馬場伸幸顧問ほか２名がオブザーバーとして参加され、世界遺産登録後も見据えた取組への応援のお言葉をいただきました。

そのほか、山下真知事（奈良県）、出口大臣官房審議官（国土交通省）、小林次長（文化庁）、岡野国際文化交流審議官（外務省）から、世界遺産登録推進の取組や明日香村の取組に関する報告がありました。

5/27 福岡県太宰府市と包括連携協定及び災害時相互応援に関する覚書を締結

太宰府市は、大宝律令制定に伴い大宰府が設置され、国防の要や九州統治の拠点、さらには外交・国際交流の拠点として、古代において非常に重要な役割を担った場所です。

明日香村は、古代政治において大宰府との緊密な連携のもと、大陸との交流を通じて多様な文化を受け入れながら、日本の国づくりが進められた場所です。

今回、古代のネットワークを現代に甦らせ、歴史・文化・観光等を通じた相互交流や災害時の相互支援・協力により信頼と理解を深めながら、両市村の更なる発展と恒久的な友好関係を構築してくことを目的に、包括連携協定及び災害時相互応援に関する覚書を締結しました。

▲（左から）森川村長・髙原市長

6/1 国広産業株式会社と連携協定を締結

国広産業株式会社（葛城市）は、独自のバレル研磨石の製造技術を活用して、自動車・電子・医療など多様な分野を支えるニッチトップ企業です。

「研磨」技術は、古来より鏃（やじり）、勾玉、装飾品、刀など文明の発展に寄与した歴史を持ちます。

明日香村の「飛鳥池工房遺跡」からは、富本銭をはじめとする金属生産やガラス・琥珀・水晶などの玉類細工のほか、多数の砥石も出土しています。

今回、かつて渡来人によって高度な金属加工や石工技術がもたらされた明日香村において、同社の研磨石製造技術を活用した「ものづくり」を通じて、地域ブランドの醸成や新たな文化的・社会的価値の創出を図り、次世代への継承を推進するため、「地域資源を活用した新たな価値創出に関する連携協定」を締結しました。

▲（左から）森川村長、影石社長

▲（左から）ストーンスピーカー、アロマストーン、ストーンポット

3/22-25 祝全国大会出場！

新潟県上越市で開催された第53回全国高等学校選抜卓球大会に、奈良県代表として谷上香穂さん（島庄大字）が出場されました。

今後のさらなるご活躍を期待します。

▲女子シングルスに出場された谷上さん

5/29 近畿行政相談委員連合協議会会長表彰

▶受賞者

石田　勝啓　氏（立部大字）
明日香村行政相談委員

平成31年から永きにわたり行政相談委員を務めた功績が認められての受賞となりました。

石田氏は、「この受賞を励みに今後も行政に役立つことがさらにできれば」と語られました。今後の一層のご活躍を祈念いたします。

「飛鳥ハーフマラソン」ニュース ASUKA HALF MARATHON NEWS

第6回「飛鳥ハーフマラソン」の開催予定日：令和9年3月14日（日）

第6回「飛鳥ハーフマラソン」は、令和9年3月14日（日）に開催を予定しています。住民の皆さま、店舗・事務所の皆さまには交通規制等で大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

また、**次回大会も菜の花の植栽にご協力いただける方を募集します。**

菜の花の種　配布申込

【申込方法】事務局へご連絡ください。　【申込期間】7月31日（金）まで
【配布時期】9月中　【配布場所】中央公民館　【植栽時期】10月頃
【植栽場所】お住まいの大字内または所有地　※要相談

前回大会に関するご意見やアドバイス等は右記二次元コードを読み取り、ご回答ください。
※二次元コードの読み取りが困難な場合は、お電話でご連絡ください。

▲回答はこちら

問 飛鳥ハーフマラソン実行委員会事務局（教育推進課内）　☎54-5622